



～今後の中学校部活動について～

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方における国の方針

様々なメディアで報じられている通り、中学校部活動の在り方が大きく変わろうとしています。これに係わって、まず、国の方針をお知らせします。

学校部活動の課題

- 中学校生徒数が減少し、持続可能性という面で厳しさを増している。
- チームスポーツでは学校単位でチーム編成が困難になる等の課題。
- 競技経験のない教師が指導するには大きな業務負担。

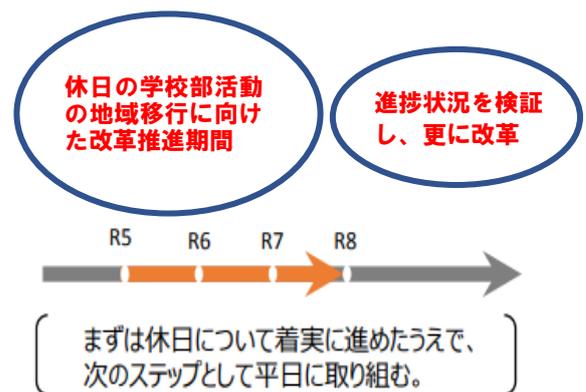


今後の方針

- 少子化の中でも、将来にわたって子供たちがスポーツ・文化活動に継続して親しむ機会を確保。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ・文化環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保。
- 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるように見直しへ。

学校部活動から地域クラブ活動への移行はいつから始まるの？

スポーツ庁及び文化庁から示された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」では、令和5年度から令和7年度までの3年間の改革推進期間として、休日学校部活動の地域クラブ活動への移行を、可能な限り早期に実現することを目指としています。



誰が地域クラブ活動を担うの？

地域の実情に応じて、実施主体として多様な組織・団体等（総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、プロチーム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等）を想定している。





弥彦村の休日地域クラブ活動への移行の取組について



国の方針を受けて、弥彦村でも部活動の在り方検討委員会を立ち上げ、今年度、会議を3回行いました（右写真）。検討委員会では、主に2つのことを話し合っています。



- ① 弥彦村における持続可能な青少年のスポーツ・文化活動への参加の在り方
- ② 令和5年度～7年度における休日の学校部活動から地域クラブ活動への円滑な移行の方策

議論を基にした、現時点での方針（予定含む）を下記Q&Aによりお伝えします。

※記載の内容は、現段階の案ですので、今後変更等がありますことをご了承ください。

Q&A

Q1 休日の地域クラブ活動への移行の概要は？

A1 弥彦中学校では、令和7年度を目途に移行できるように諸準備を進めています。地域移行の準備が整うまでは、**学校部活動として実施する予定**です。



Q2 令和7年度までに具体的にどのような準備をするのですか？

A2 運営主体の整備や、地域指導者の確保、地域指導者の研修、学校と地域指導者の連絡調整を担うコーディネーターの採用等を行っていきます。



Q3 費用面の保護者負担は発生するのですか？

A3 **令和5年度は、休日の活動に伴う参加費は発生しません。**ただ、これまで通り個人の用具等（ラケット、シューズ、ユニフォーム等）は保護者負担になります。地域移行後は、参加費・保険等の保護者負担を検討していきます。

Q4 今後、弥彦中学校の部活動数は減るのですか？

A4 **令和5年度は、現在設置されている部活動が継続して設置されます。**しかし、生徒数の変化や生徒の希望に配慮しながら、今後、部活動数の適正化を検討していきます。

